



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 住友ベークライト株式会社

コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 吉田 英司

TEL 03-5462-4111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	147,773	△5.8	11,562	36.5	12,032	35.4	6,953	111.7
28年3月期第3四半期	156,947	2.5	8,473	10.0	8,887	11.0	3,285	△36.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 10,122百万円 (862.0%) 28年3月期第3四半期 1,052百万円 (△94.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	29.54	—
28年3月期第3四半期	13.67	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	266,267	166,582	61.9
28年3月期	260,122	158,908	60.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 164,831百万円 28年3月期 157,319百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	△3.4	15,000	46.5	15,500	46.2	9,000	135.1	38.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	247,952,394 株	28年3月期	262,952,394 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	12,610,879 株	28年3月期	27,600,108 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	235,347,636 株	28年3月期3Q	240,275,889 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国および欧州では緩やかな景気回復基調で推移しましたが、中国をはじめ新興国では景気減速が続き、全体としてはわずかな伸びにとどまりました。日本経済においても企業収益や雇用・所得環境に改善傾向は見られるものの消費が伸びず、横ばいが続きました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においては、パソコン向けは低迷が続きましたが、新興国を中心としたスマートフォンなどの多機能携帯端末需要に支えられ、堅調に推移しました。自動車においては北米の新車販売が高水準を維持、欧州でも好調を続けており、中国でも小型車減税効果により安定的な伸びを見せました。一方国内では軽自動車の販売落ち込みが長期化し低調でした。また国内の住宅着工件数は増加しました。

当社グループはこのような経営環境の中、「CS（顧客満足）最優先」を事業活動の基本方針とし、社内外の連携・協業を積極的に行うことにより市場のニーズを掘り起こし、個人・組織・会社全体の力を結集し、持続的な成長に向けて、次の基本戦略を掲げ取り組んでまいりました。

- ①新製品の早期立ち上げ、創生
- ②既存事業の再生、事業転換
- ③成長分野の収益力強化、規模拡大

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、円高や原料安に伴う売価値下げなどの影響を受け、1,477億73百万円と、前年同期比で5.8%、91億74百万円の減収となりました。損益につきましては、連結営業利益は、円高が悪化要因にはなりましたが、半導体関連材料や高機能プラスチック製品の販売数量増加やデコラなどの構造改革による販売内容構成の好転、更には昨年より取り組んでまいりました固定費削減効果などにより、前年同期比で36.5%増の115億62百万円となり、連結経常利益も、前年同期比で35.4%増の120億32百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で111.7%増の69億53百万円となりました。

## セグメント別販売状況（対前年同期比較）

## ①半導体関連材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、円高影響やパソコン用途での減少があったものの、スマートフォンなど多機能携帯端末向けで販売が伸び、売上高は増加しました。

半導体パッケージ基板材料の「LαZ®」は、アプリケーションプロセッサ向けなどで拡販に注力し、売上高は増加しました。

## ②高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂は、欧州の自動車向けを中心に堅調でしたが、円高および原料安に伴う売価は正の影響により、売上高は減少しました。

航空機・自動車等成形品は、航空機関連が底堅く推移しましたが、円高影響などで、売上高は減少しました。

銅張積層板は、車載用途のエポキシ樹脂銅張積層板が好調でしたが、フェノール樹脂銅張積層板の片面板事業縮小により、売上高は減少しました。

## ③クオリティオブライフ関連製品

医療機器製品は、既存製品の顧客での在庫調整が長引くなど、売上高は減少しました。なお戦略製品の血管内治療用デバイス「ステアリングマイクロカテーテル」は国内外とも順調に販売を伸ばしており、今後も拡販に注力してまいります。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医薬品包装用途がジェネリック薬向けを中心に引き続き堅調に推移し、鮮度保持フィルム「P-プラス®」も、カット野菜用途や産地野菜用途が好調でしたが、カバーテープなどの産業用フィルムが低迷し、売上高は減少しました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品は、サンレンズ用偏光板や電子機器用絶縁材が低調で、売上高は減少しました。なおデコラ製品は、昨年3月末に不採算品目の高圧メラミン化粧板および不燃メラミン化粧板からの撤退で売上高は減少しましたが、事業構造改革の効果により損益は大幅に改善しました。引き続き鉄道車両用内装材や業界最薄の不燃メラミン化粧シート「デコライノベア®」などの高機能・高付加価値分野に特化した新たな事業展開に邁進してまいります。

防水関連製品は、新築住宅向けが順調に伸び、売上高は増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (2.1) 資産、負債および純資産の状況

#### ①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ61億45百万円増加し、2,662億67百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が41億73百万円、投資有価証券が28億69百万円増加したことによるものです。

#### ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ15億28百万円減少し、996億85百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が14億64百万円、未払金が11億54百万円増加した一方で、コマーシャル・ペーパーが50億円、賞与引当金が11億83百万円減少したことによるものであります。

#### ③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ76億74百万円増加し、1,665億82百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を69億53百万円を計上したことに加え、その他有価証券評価差額金が20億25百万円増加した一方で、配当金の支払23億53百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月14日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、当社は外貨建金銭債権債務等に係る為替予約については、振当処理の要件を満たす場合には振当処理を行っていましたが、外貨建金銭債権債務等とデリバティブ取引の状況をよりの確に四半期連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より原則的処理方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

また、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,876	47,903
受取手形及び売掛金	41,783	45,956
商品及び製品	12,529	11,858
半製品	3,754	3,524
仕掛品	1,367	1,512
原材料及び貯蔵品	11,438	11,455
その他	7,819	7,115
貸倒引当金	△55	△58
流動資産合計	123,514	129,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,967	32,109
機械装置及び運搬具（純額）	39,072	37,440
その他（純額）	16,285	17,279
有形固定資産合計	87,325	86,830
無形固定資産		
のれん	24,318	23,838
その他	2,128	1,791
無形固定資産合計	26,446	25,629
投資その他の資産	22,836	24,538
固定資産合計	136,607	136,998
資産合計	260,122	266,267

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,115	27,579
短期借入金	4,879	5,379
コマーシャル・ペーパー	9,000	4,000
未払法人税等	2,870	2,481
賞与引当金	2,730	1,547
事業再建費用引当金	1,088	228
その他	9,384	12,544
流動負債合計	56,068	53,761
固定負債		
長期借入金	37,018	36,782
退職給付に係る負債	4,333	4,269
その他の引当金	82	192
その他	3,710	4,679
固定負債合計	45,145	45,924
負債合計	101,213	99,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	88,548	85,132
自己株式	△14,748	△6,738
株主資本合計	146,300	150,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,206	7,231
為替換算調整勘定	6,551	7,459
退職給付に係る調整累計額	△739	△754
その他の包括利益累計額合計	11,018	13,936
非支配株主持分	1,589	1,751
純資産合計	158,908	166,582
負債純資産合計	260,122	266,267



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	156,947	147,773
売上原価	111,115	100,929
売上総利益	45,831	46,843
販売費及び一般管理費	37,357	35,280
営業利益	8,473	11,562
営業外収益		
受取利息	196	150
受取配当金	388	389
持分法による投資利益	172	116
為替差益	227	27
雑収入	144	247
営業外収益合計	1,129	931
営業外費用		
支払利息	231	186
租税公課	228	—
雑損失	255	275
営業外費用合計	715	462
経常利益	8,887	12,032
特別利益		
固定資産売却益	11	4
投資有価証券売却益	1,232	252
受取保険金	401	—
特別利益合計	1,644	256
特別損失		
固定資産除売却損	167	227
子会社株式売却損	—	14
投資有価証券評価損	—	10
事業再建関連費用	2,255	1,590
環境対策引当金繰入額	—	110
災害による損失	230	—
減損損失	1,302	—
その他	7	1
特別損失合計	3,963	1,955
税金等調整前四半期純利益	6,569	10,333
法人税、住民税及び事業税	2,704	2,435
法人税等調整額	458	745
法人税等合計	3,163	3,181
四半期純利益	3,405	7,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	199
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,285	6,953

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,405	7,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,306	2,024
為替換算調整勘定	△988	1,004
退職給付に係る調整額	△2	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△55	△44
その他の包括利益合計	△2,353	2,969
四半期包括利益	1,052	10,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985	9,871
非支配株主に係る四半期包括利益	66	251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,782	69,324	52,312	156,419	527	156,947	—	156,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	203	0	204	—	204	△204	—
計	34,782	69,528	52,312	156,623	527	157,151	△204	156,947
セグメント利益	4,536	3,436	2,789	10,761	120	10,882	△2,408	8,473

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△2,408百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,403百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「半導体関連材料」セグメントにおいて、静岡工場の半導体パッケージ基板材料「LαZ®」の生産設備について、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,302百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,391	62,919	48,922	147,232	540	147,773	—	147,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97	0	98	—	98	△98	—
計	35,391	63,016	48,922	147,330	540	147,871	△98	147,773
セグメント利益	5,772	4,676	3,114	13,563	147	13,710	△2,147	11,562

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△2,147百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品